

巻頭 創刊10周年特別企画 特集 過去のご相談を総まとめ

データから読み解く 介護施設選びの最新事情

おかげさまで創刊10周年となる今号の巻頭特集では、過去10年に寄せられた数多くのご相談を振り返り、その詳細をご紹介します。蓄積されたデータを考察することで、施設入居に関する最近の傾向や、その背景が明らかになることでしょう。

PROFILE



樋口 国陽
ひぐち くにしよ
(株)シニアサポート代表

長年にわたって数多くの相談者に最適な介護施設を紹介してきた、介護施設選びのエキスパート。自治体や企業向けの講演会も数多く行う。

目次

巻頭特集

データから読み解く
介護施設選びの最新事情 4

介護施設の種類と特徴 10

1都3県 使える! 見つかる!

1621件とつながるリスト

掲載情報の見方 13

東京都23区 14

東京都市部 24

神奈川県川崎市 30

神奈川県横浜市 34

神奈川県相模原市 38

神奈川県市部 38

千葉県千葉市 43

千葉県市部 45

埼玉県さいたま市 48

埼玉県市部 51

プライバシーポリシー 58

ご相談からご入居までの流れ 59

入居相談FAX送信票 60

第2特集

誰にとっても他人ごとではありません!
あなたは大丈夫?
老後に必要な“6つの備え” 63

相談員のひとりごと 66

チェック!
介護にいくらかけられる?
入居予算試算表 68

「ホームあしすと」創刊10周年を迎えて

高齢者住宅情報誌「ホームあしすと」も今号で創刊より10年を迎えます。これも日ごろより弊誌をご利用して下さる読者様やお取引先様のお引き立てがあつてのことと、心より感謝しております。これからも高齢者施設をお探しの方々の一助となる誌面作りを目指して努力していく所存です。どうぞよろしく願い申し上げます。

10周年記念号発刊にあたり、過去10年間に寄せられた数千件にのぼるご相談を総ざらいし、住ま

い探しの実情を明らかにすることで、高齢者住宅をお探しの皆様にとって有益な情報をお伝えできればと考えました。どうぞ、施設探しの参考になさっていただければ幸いです。

なお、今回取り上げたデータは、ご相談を受けた当初にお伺いした情報をまとめたものです。施設の月額利用料などは、実際のご入居時の金額と異なる場合がございます。ご不明点などがございましたら、なんなりとお問い合わせください。

DATA 1 近年、施設入居の年齢が 少しずつ高齢化しています

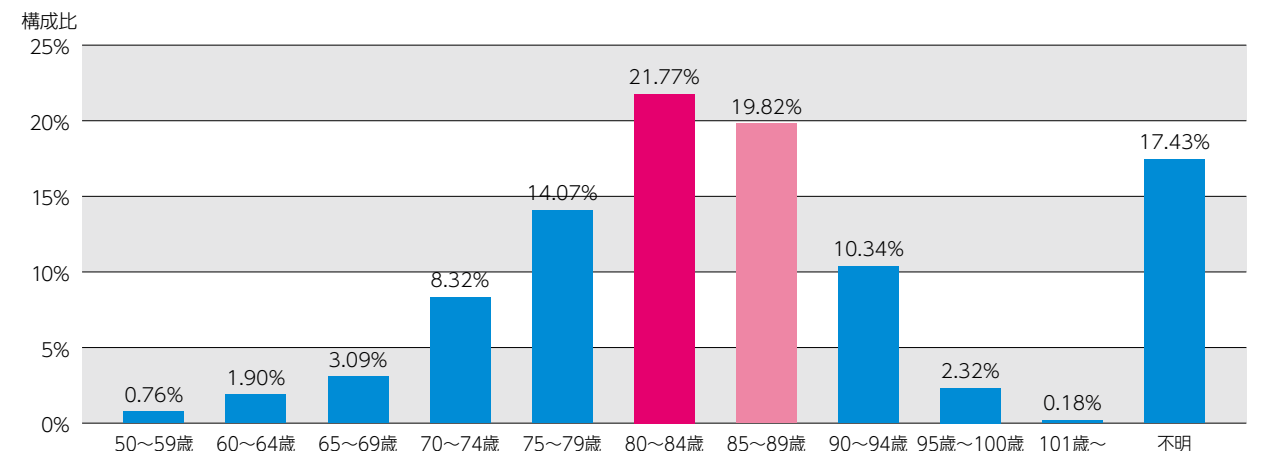
下のグラフは、施設入居を希望されるご相談者様の年齢分布をまとめたものです。

ご覧のとおり、ご相談者様の多くは70歳以上です。皆さん、70歳前後を境に「終のすみか」である介護施設への入居を本格的に検討するのが一般的なようです。中でも、80~84歳が全体の21%以上と、もっとも多く見受けられます。その背景として、この年齢に達すると体の自由が利かなくなったり、病気

になったりと、今までと同じように生活することが徐々に難しくなることが関係していそうです。

もうひとつ注目していただきたいのは、二番目にご相談が多い年齢層が85~89歳であるという点です。実は、この数字は5年前のものから比べて3割近くも増加しています。近年、よりご高齢になってから施設入居を考える方が増加する傾向があることが分かります。

図1 入居検討者の年齢構成比



DATA 2 この数年でご夫婦での入居が多く見受けられます

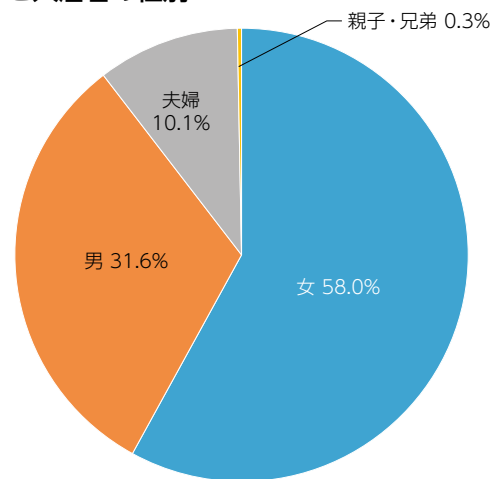
右の円グラフをご覧ください。これは、ご入居者の性別および関係を示したものです。割合でいうと、男性が31.6%、女性が58.0%となります。

実際に、有料老人ホームへ入居している方の男女比は7：3から8：2の比率で女性が多いそうです。私どもへご相談いただく方の男女比を見ると2：1に近い数字ですので、かなりの誤差があります。これは、実際のご入居実績ではなく、あくまでもご相談の際のデータであるためと考えられます。男性の場合、ご検討されてもご入居に至らないケースが、より多いのかもしれませんが、男性の方が慎重派が多いということの表れかもしれませんね。

また、ご夫婦での入居が全体の約1割いらっしゃることも注目です。5年前のデータでは8%でしたが近年、ふたりいっしょに施設への入居を検討さ

れる方が増えています。多くの場合、ご夫婦ともに要介護の状態になり、住み替えが必要になるケースが多いように感じます。

図2 ご入居者の性別



DATA 3 入居検討者の要介護度が5年前と比べ大きく上昇

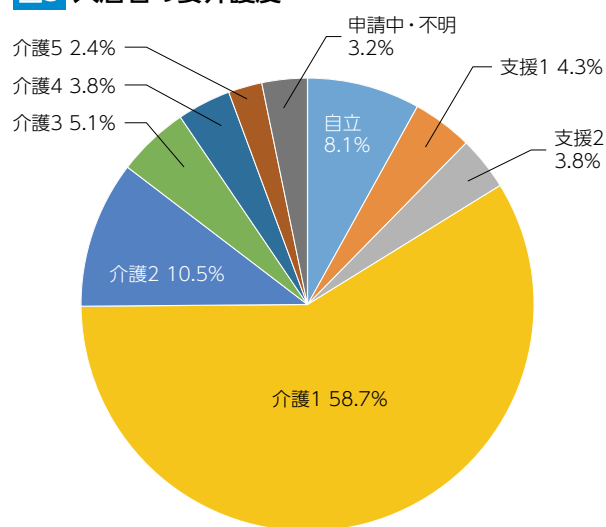
今回、5年前のデータと比較して、もっとも大きく変化したのが、右のグラフにまとめた、ご入居者の要介護度です。5年前には要介護1の方が83%を占めていましたが、現在では、要介護2～3の方の割合が急激に増加していることがわかります。この数字は、先にご紹介した入居検討者様の年齢分布が高齢化しているというデータとも一致しています。

多くの方は、要介護1と認定を受けた段階で施設入居を検討される傾向にあります。見守りが必要な状況が増えるので「これを機会に」とお考えになるのでしょうか。当然、要介護度が上がるほど、見守りの必要性も高まります。言い換えれば、以前と比べて、より具体的な必要に迫られて介護施設を探す方が増えたということでしょう。

余裕をもった人生設計を行うためにも「もしも将

来、介護が必要になったら」と考えておくことは重要です。

図3 入居者の要介護度

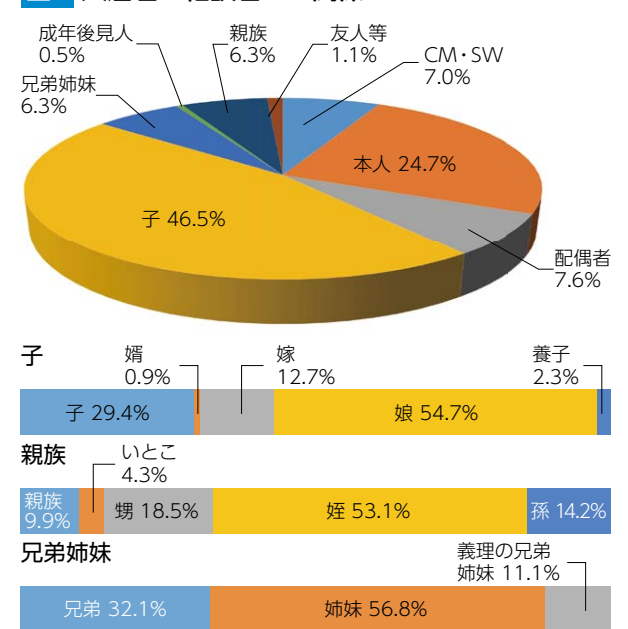


DATA 4 施設探しは誰の役割？相談者と入居者の関係は…

これは、ご入居者様とご相談者様の関係についてまとめたデータです。いちばん多いご相談はお子様からのものでした。その半数以上が実の娘で、義理の娘（嫁）からの相談も合わせると67%を占めることがわかります。これは、介護の担い手が女性である現状を反映していると言えるかもしれません。私の経験からみても、一緒に住んでいる息子よりも、家を出た娘からの相談がより多いと感じます。女性の方がご両親の変化をいち早く感じとることができるうえ、介護に関わる情報をより多く持っているためではと推測できます。

また、近年の傾向として、入居するご本人様からの相談も増えています。これは私見ですが、東日本大震災をきっかけに、将来の生活に不安を感じられた方が多いのではないかと思います。

図4 入居者と相談者との関係



DATA 5 施設入居にはいくら必要？0円プランに人気集中

最後にご紹介するのは、入居費用に関するデータです。注目したいのは、近年増えている入居時費用0円のプランに人気集中していることです。やはり皆さん、初期費用が少なく済むという点に魅力を感じるのでしょうか。入居金0円プランは、月々の費用に入居金が分割して加算されます。東京近郊では、月額費用が30万円以上かかる場合もあります。近年では、入居時0円で、月額17～25万円程度の価格帯の、リーズナブルな施設が増えてきていると感じます。

毎月かかる費用を見てみると、16～20万円が最多です。厚生年金の支給額が月額17万円程度で変化しないため、月々の年金の範囲内か、それよりも少しだけ高い金額で生活したいとお考えになる方が多いようです。

図5 入居時費用の割合

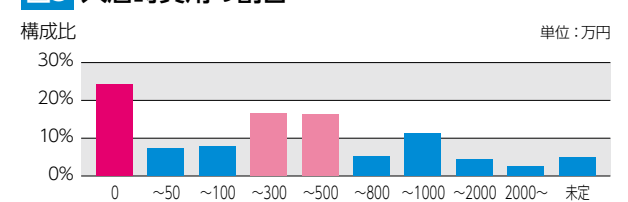
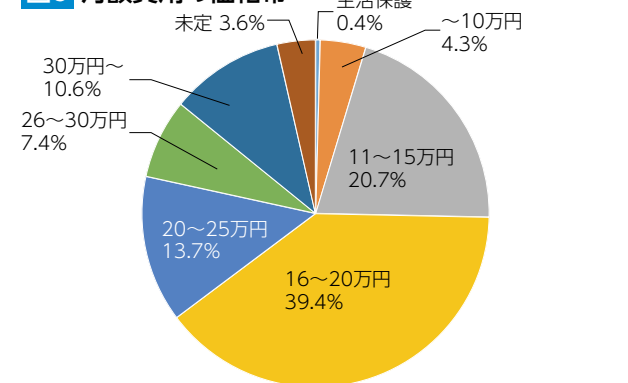


図6 月額費用の価格帯



ご入居者様を第一に考えて 最適なお住いをご提案します！

今回の巻頭特集では、過去10年のご相談を振り返りながら、施設入居の実際を分析してまいりました。国民の4人に1人が65歳以上という高齢化社会を迎えたいま、人それぞれにライフスタイルも多様化しています。自分らしく老後を生きるために、どんな住まいを選ぶか。この問題は、誰にとっても他人ごとではありません。

読者の皆様の中には、今まさに施設を探している方も多くいることでしょう。そんな皆様のために、この記事が少しでも参考になれば幸いです。

高齢になってからの住み替えは、ご本人やご家族の人生にとって、とても大きなイベントです。私ども「ホームあしすと入居相談室」では、お電話でお話しするだけでなく、原則、ご相談者様と面談して直にご希望をお伺いしております。実際にお会いすることで、お電話では分からない情報やご事情を判

断することができる考えるためです。お一人おひとりのお考えやご希望、ご予算などを伺ったうえで、最適な施設を提案するように心がけております。

介護施設の入居に関するご不明点がございましたら、ぜひとも私どもへお声がけください。ベテラン相談員が、誠意を持ってご対応いたします。



もしも迷ったときには… ホームあしすと 入居相談室

「ホームあしすと入居相談室」では、老後の住まい探しのご相談をお受けしております。介護業界を知り尽くしたプロの視点から、お一人おひとりに最適な施設を探し、親身になってご提案いたします。施設の見学、ご契約、アフターフォローまで、万全の体制であらゆるご相談にお応えいたします。

まずはお気軽にお電話ください

 **0120-428-165**

 **0422-22-1501**

営業時間 **10:00~19:00** ●定休日/日曜・祝日*

*メッセージを残していただければ折り返しご連絡させていただきます。

プロの観点で
ご提案します

親身になって
万全サポート

相談費用は
いただきません



ホームあしすと



<http://senior-support.co.jp/>



●twitter & facebookも更新中!

●Webにて弊社バックナンバーを公開中!